

# 地震からくらしを守る

4年 ( ) 組 名前

1. めあて

大きな地震が起きたら、わたしたちの生活にどのようなえいしょうがあるか考えよう。

2. 大きな地震が起きたらどんなひびがあるだろう。

道路にひびが入る。車が走れなくなる。津波が来る。土砂崩れが起きる。建物がこわれる。物が落ちてくる。家具がたおれる。電気・ガス・水道が止まる。 など

3. 電気・ガス・水道が止まったら…わたしたちの生活はどうなるだろう。

- ・電気…夜は暗い。テレビが見られない。携帯の充電ができない。 など
- ・ガス…お湯が沸かせない。お風呂に入れない。温かい料理が作れない など
- ・水道…水が出ない。トイレができない。生きていけない。 など

4. 東日本大震災によって、どんなひびがあったのだろう。

- ・東北地方の約466万世帯、関東地方の約405万世帯で停電。
- ・全ての地域に電気が送れるようになるまで3か月かった。
- ・たくさんの人々が復旧にかかった。

5. 何をそなえておく？

- ・電気…手回しラジオ、懐中電灯、乾電池 など
- ・ガス…カセットコンロ など
- ・水道…ペットボトルの水、携帯トイレ など

6. 今日の感想

- ・地震が起きると、たくさんの被害が出る。
- ・電気、ガス、水道が止まると、生活ができないことがわかった。
- ・電気を復旧するためにたくさんの人々が働いていることがわかった。 など